

平成 25 年 総 務 委 員 会 開 催 状 況

開催年月日 平成25年11月 5日 (火)

質 問 者 民主党・道民連合 高橋 亨 委員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 原子力防災訓練について</p> <p>私も10月8日の防災訓練に参加しました。私も二回目の参加です。多くの議員の方々も、当該地域の方々を含めて視察をされていたということも、私も当然、地域の方の安全を考える分では、同じ考えなのだと思っておりました。</p> <p>(一) 訓練評価と課題の認識について</p> <p>今回、様々な新しい要素も入れられた訓練でしたが、この防災訓練についての評価についてお聞きしたいと思います。</p> <p>私も、オフサイトセンターで、その状況を見させていただきました。地震が発生して、事故がという想定の下で、国、さらには知事も含めて、災害対策の対応についての指示があって、それぞれが情報を共有しながら動いているのを見させていただきました。ただ、感想ですが、あそこは仮の所としても、若干十分なスペースが無い中で、情報交換のため、多くの人がお互いに、いろいろな所へ行き来しているということがあり、もう少しすっきりと情報交換できるような態勢ができないのかと思ったので、そういうところも、今後、新しいオフサイトセンターも含めて、対応していただければと思います。</p>	<p>(危機管理監)</p> <p>原子力防災訓練の結果などについてでございますが、今年度の訓練は、緊急事態応急対策拠点施設運営訓練といたしまして、代替オフサイトセンターでございます後志総合振興局に、国や道、関係自治体などで構成いたします合同対策協議会を設置いたしましたほか、災害対策指針の避難の判断基準に基づく段階的な住民避難を実施したところでございます。</p> <p>また、この度、初めて道路の渋滞を想定した訓練といたしまして、避難者への食料や水、災害情報の提供や救護所におけるスクリーニングの実施、さらに、住民研修会を併せて実施したところでございます。</p> <p>こうした取組を通じまして、原子力防災に関する一定の理解が深まるなど、概ね、所期の目的を達成したものと考えてございますが、その一方で、オフサイトセンターでの情報共有のあり方や緊急速報メールなどの表示が分かりにくいなどといった課題があるものと受け止めてございます。</p> <p>今後、訓練に参加した防災関係機関に対する事後調査や住民アンケート調査の結果などを参考に、さらに課題などを洗い出した上で、関係自治体などと訓練内容について、十分な検討を行いまして、より実効性のある訓練となるよう努めてまいりたいと考えております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(二) コンビニ等のサービスについて</p> <p>今回は、私はバスに乗って、避難の状況を何点かの拠点拠点で見させていただきました。そして、その中で、とりわけ食料や水、トイレ、情報提供ということで、コンビニ等を利用してということで、今回はスーパーを指定して、そこにバスが行って、中学校の子どもたちが水やパンをもらうところを拝見させていただいた。事故が起きた場合、PAZ内には3軒ほどコンビニがあると聞いているが、これは当然、第一義的に避難すると思いますが、UPZ内、30km圏内にコンビニがどのくらいあるかはわかりませんが、それぞれのコンビニの地区の本部と緊急対応時ということでいろいろ話し合いをしていくと思えますけれども、しかし、その方々も避難対象者であります。従って、避難されてくる方を待って、水と食料を提供して、道路状況を説明をしてということをやっていると、UPZ内の方々全部が避難をされたということでは自分達の避難はできない、ということにはならないだろうと。スーパーやコンビニの方々も避難対象者だと思う。東海村の事故の時に、あるコンビニの本部との体験なのですが、そこで最後まで残るよう本部から指示があり、避難ができなかったという状況があった。こういうことがあってはいけないと思うわけで、そうだとすれば、当然のことながら、コンビニなどを使ったこの一連の避難に係わるサービスも一考しなければならないと思えますが、見解をお聞きます。</p> <p>今おっしゃったように、公共的な施設などを利用するということ、ある程度妥当かと思うわけでして、これから以降、様々な計画や訓練などにも、そのことをきちんと捉まえてやっていただきたいと思います。</p> <p>(三) 海上避難やヘリ避難について</p> <p>今年の訓練ですが、昨年も天気があまり良くなく、船での避難ができなかったと。そして、今年も同じように、天候状況は必ずしも同じではなかったと思えますが、海上からの避難ができなかった。</p> <p>また、ヘリコプターも天候によって左右されることから、道路が封鎖されて孤立した住民の方々を避難させるためには、海上輸送又はヘリコプターも含めて、様々な案、代替案も考えておかなければならないのではないかと思います。如何でしょうか。</p>	<p>(原子力安全対策課長)</p> <p>避難時における住民支援についてでございますが、避難指示が発出された地域内のコンビニエンスストアやスーパーなどの従業員の方々についても、避難対象者となることから、住民の方々と同様に避難していただくことになるところでございます。</p> <p>災害時には、事故事象の進展状況を踏まえ避難指示が出されていない地域において、コンビニエンスストアなどのご協力をいただくほか、避難経路沿いの公共施設などを拠点とした、トイレや水、食料、渋滞情報などの提供などによる住民支援が必要であると考えておりまして、この度の訓練を踏まえ、今後、引き続き町村や防災関係機関などと検討してまいりたいと考えております。</p> <p>(原子力安全対策担当局長)</p> <p>住民避難についてでございますが、昨年度の訓練では、天候が悪く海上が時化しておりましたことから、海上避難の一部を中止をし、屋内退避措置としたところでございます。</p> <p>また、本年度は、当日、波が高かったため、住民の皆さんの体調などに配慮をいたしまして、巡視艇での海上避難をとりやめ、代替輸送として、ヘリコプターによる住民避難に変更をしたところでございます。</p> <p>災害時におきましては、その時々気象状況や波の高さなどを考慮し、住民の皆さんの健康状態にも十分配慮をする必要があると考えており、気象状況などによりましては、例えば、屋内退避の措置を講じた上で、その状況を見極めつつヘリコプターや船舶など多様な輸送手段により、住民避難を実施するなどの対応が必要と考えております。</p>

質 問 要 旨

答 弁 要 旨

いずれにしても、様々なことが想定をされるし、また、様々な課題も出てくるということで、これは、訓練を何度も何度もやっていくということになりますが、そうすると、出た課題はきちんと検証されていて次に活かしていかなければならないのは当然のことであるので、今回の防災訓練の検証は、後ほど住民の方々にアンケートを行うと聞いておりますし、関係機関とも協議をされると思うので、是非、そういうことの一つ一つの積み重ねをよろしくお願ひしたいと思ひます。